

2016年度に中学校の教科書が改定されます

来年度の2016年度、中学校の教科書が改定されます。2012年の改定のときには、学習指導要領の改訂が伴い、情報量、ページ数が大幅に増加しました。それでは、今回の改訂はどうなるのでしょうか？実は、今回の改訂では、現在と比べて大きな変化はありません。特に新しい単元が増えたりすることはありません。ところが、「内容」で変化する部分があります。今回の情報局では、この教科書の「内容」がどのように変化をするのかについてお話したいと思います。

<英語のポイント！>

読む・書く・聞く・話すの4技能の徹底

従来の英語教育は「読む・書く」が中心でした。一昔前の大学入試センター試験は「読む・書く」のみ、そして現在は「聞く（リスニング）」が必須となり、3技能が必要となりました。しかし、まだ多くの大学の入試は「読む・書く」の2技能だけのところがあります。現在、討論されている大学入試改革では「読む・書く・聞く・話す」の4技能の習得を重視しています。すでに、英検やTOEICといった語学試験はこの4技能を利用する試験へと動いています。今回の英語の教科書改訂は、この流れを汲んだものとなっています。

聞く

新しい言語材料を学ぶ際には、必ずリスニング活動を設定しています。

各Section
① 語彙に關する会話や読解文を用い、会話文や文章が豊かになり、発音も丁寧に発音している。

Review
Lessonの言語材料を用いた会話などを用い、内容の理解度を確かめる。

Chapter Review
Lesson以外の本題、本文に關するリスニング活動を通して、内容の理解度を確かめる。

読む

小学校からの接続が軌道に乗った1年Chapter2の終盤から、読む活動を積極的に取り入れていきます。

各Section
① 語彙を中心とし、読解文や手紙など、様々な形式の文章を扱う。

Review
Lessonの題材に關連している、馴染みのある英文を多く取り入れる。

Chapter Review
読解文、単語、語彙などについて、読者の考えを大切にしながら、他の教科との統合的な活動をする。

話す

「習得」→「活用」の手順で話す力を育てます。

基礎的・基本的な知識・技能を習得

各Section
ペアやグループ、インビュウゲーム、目標文を用いた会話をして課題を解決する。

Review
Lessonの重要表現を用いた会話などを用い、内容を理解する。

Chapter Review
目標文や重要表現を用いた会話をして、課題を解決する。

習得した知識・技能を活用

自分の思いも、スピーチやShow&Tellなどの様々な形式を用いながら話して伝える。

書く

「習得」→「活用」の手順で書く力を育てます。

基礎的・基本的な知識・技能を習得

各Section
ペアやグループ、インビュウゲームを行った会話に関する資料を書く。

Review
① Lessonの重要表現を用いた文章の構成要素を正しく書き、② 自分の思いを書き活動を通して、習得した知識・技能を活用する。

習得した知識・技能を活用

自分の意見も、まとめるある文章で書いて表現する。

↑ 学校図書HPより

<国語のポイント！>

アクティブ・ラーニングの実践

アクティブ・ラーニングとは？従来の教育である「先生から一方的な指導」ではなく、グループディスカッションやディベート、グループワーク等で生徒自身が能動的に学習をする方法です。今回の新しい教科書では、このアクティブ・ラーニングを行うための工夫がされています。

バネリスト

フロア

「バネリストディスカッション」あるテーマ（論題）について、異なる意見をもち、三〜五名のバネリスト（発表者）がフロア（聴衆）の前で討論した後、フロアも討論に加わって全体で議論を深める話し合いの方法。

この学習では、なるべく多くの人に参加を促すよう、クラスを二つに分けて、教室の二か所で行うことも可能です。

教育出版HPより→

<数学のポイント！>

演習問題量の増加

全体的に問題演習の量が増えています。内容は大きく変わっていないのに、ページ数が1割程度増加しています。また、ただ問題が増えるだけでなく、今までにない工夫が教科書ごとにされています。

例えば、東京書籍の教科書では、「ちょっと確認」で前学年の内容を入れて復習しやすい工夫がされていたり、他にも「まちがい内容」で同じ誤りを繰り返さないような工夫がされています。ちなみに、この「まちがい内容」は、すでにアップスーションで使っているアップノートで行っています。

このような内容が入られるということによって、今後、定期テストでも出題されるようになるでしょう。

○「ちょっと確認」の例

等式を変形して、ある文字について解いてみよう。

例1 $2x - 4y = 7$ を y について解きなさい。

解答 $2x - 4y = 7$

$$2x = 7 + 4y$$

両辺を2でわる

$$x = \frac{7}{2} + 2y$$

答 $x = \frac{7}{2} + 2y$

1年

1次方程式の解き方

$$2x - 4y = 7$$

$$2x = 7 + 4$$

$$2x = 11$$

$$x = \frac{11}{2}$$

※ $x = \frac{7+4y}{2}$ としてもよい。

○「まちがい内容」の例

問4 右の方程式の解き方で、まちがっているところをいいなさい。また、正しく解きなさい。

× まちがい例

$$\frac{1}{2}x - 5 = -\frac{3}{4}x$$

両辺に4をかけると

$$2x - 5 = -3x$$

$$2x + 3x = 5$$

$$5x = 5$$

$$x = 1$$

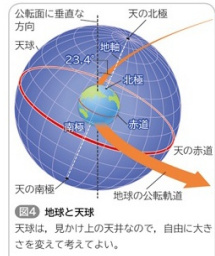
↑ 東京書籍HPより

<理科のポイント！>

内容が細分化

大きな変更はありませんが、内容が細分化された分、ページ数が約2割ほど増加しています。

また、今習っている知識がどのようなものにつながっているのかを示すような工夫がされています。例えば、地震の単元では、ただ地震の知識だけを習うのではなく、それに伴って防災を考えさせたりしています。他にも、天体のところでは、社会の地理で習う「緯度・経度」の話を入れるなどの工夫もされています。



↑ 東京書籍HPより

<社会のポイント！>

発展内容・コラムの増加

社会も大きな内容変更はありません。しかし、東京書籍では「深めよう」やコラムなどといった補足的な内容が増えています。

また、国語のようにアクティブ・ラーニングをさせるような工夫が施されています。

身近な地域を見よう

身近な地域を見よう。自分たちが暮らしている地域には、どのような特徴や変化が見られるでしょうか。人口や産業などが変化して、周囲に変わっていきつつある地域にどのような変化や課題があるかを考えてみましょう。古い地図や写真を使い、人口や産業などの統計資料を調べたりして、地域にどのような特徴や課題があるかを考えてみましょう。古い地図や写真、統計資料などを見比べると、地域の変化をよりよく見ることができます。どこにどのような変化が見られるのかを書き出してみてください。これまで気づけなかった新たな発見や疑問

↑ 東京書籍HPより